



ボクの名前はアクリアくん。
 お家の壁、床、天井の中から
 お部屋の快適温度を守る断熱材です！
 お家で過ごす家族が
 一年中快適で健康に暮らせるように
 外の暑さ、寒さから守っています。



冬、暖房しても部屋全体が温まらず足元が寒い。夏、冷房が効きにくい。
 こんな不快感も、アクリアでしっかり断熱すると解消できる。
 心地いい部屋になるよ。



冬、同じ室温でも快適さが違う！

同じ温度でもカラダが感じる温度(体感温度)が違うことをご存知ですか？例えば気温30℃の時、道路と緑の多い公園にいるのではどちらが涼しく感じられるでしょう。
 下の図は断熱性能が高い家と低い家で、同じ室温20℃で体感温度がどのくらい違うか示したものです。室温が同じでも、床、壁の表面温度が低いと寒く感じられることがわかります。断熱性能を高めると表面温度が上がり、室温20℃でも十分暖かく感じられるようになります。

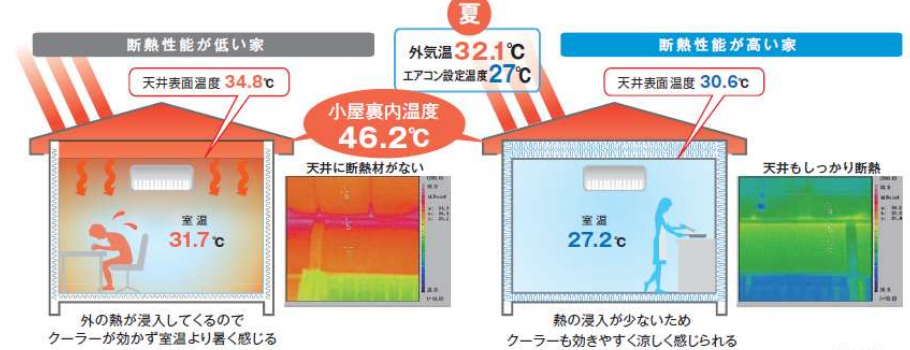


2020年を見据えた住宅の最新断熱化技術開発委員会(HEAT20)/パレットより作成



夏、クーラーが効くようになる！

断熱性能を高めることでクーラーが効きやすくなり、夏もグンと過ごしやすくなります。特に夏は小屋裏内の温度が50℃近くまで上がるため、天井に断熱材を施工していないと小屋裏の熱が伝わり天井の表面温度が上がるため、同じクーラーの設定温度でも暑く感じられます。天井にもしっかりと断熱材を入れ、建物の断熱性能を高めることで、27℃設定でも涼しく快適に過ごせます。



弊社測定値より

壁 AclearNEXT



熱抵抗値 R2.4(m²·K/W)
 高性能14K 厚さ90mm



- 平成28年省エネルギー基準対応の防湿フィルムを採用。
 防湿性能 JIS A 6930 同等品 測定条件:温度25℃、相対湿度90%
 フィルム厚さ:50ミクロン 透湿抵抗値:0.123(m²·s·Pa/ng)
- 断熱材の四辺に防湿気密フィルムの大きな耳が付いているので、確実な防湿気密施工ができます。

天井 Aclearmat



- 断熱等性能等級4の天井に対応している高性能グラスウールです！

床 Aclear Uボードピンレス



- 適度な弾力性があるので、隙間のない断熱施工ができます。
- 透湿性を備えた水蒸気を通しやすい素材ですので、床合板の湿気を逃します。

アクリアは、快適・健康・安全・経済性に優れた高性能グラスウール断熱材です。

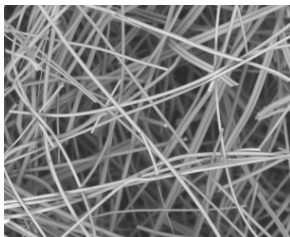
アクリアの快適性能

最新の細繊維化技術によってすぐれた断熱性能を実現

グラスウールは、細いガラス繊維が絡み合っつくられる空間(動かない空気の小部屋)によって、熱を伝えにくくしている断熱材です。アクリアは、この繊維をさらに細く、たくさんの繊維を絡み合わせることで、より高い断熱性能を実現した高性能グラスウールです。

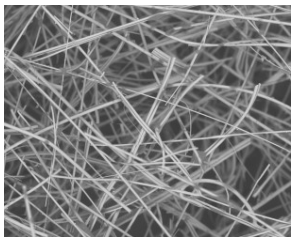


■一般のグラスウール



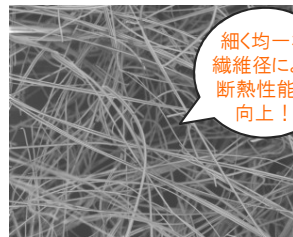
平均繊維径約7~8ミクロン
グラスウール10K

■高性能グラスウール



平均繊維径約5~6ミクロン

■高性能グラスウール(細繊維タイプ)



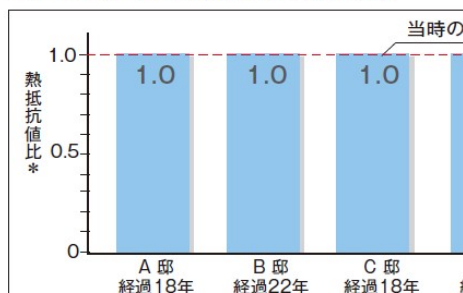
平均繊維径約4~5ミクロン
アクリアネクスト14K

細く均一な
繊維径により
断熱性能を
向上!

20年経っても快適 断熱性能が変わりません。

アクリアは、長い年月を経ても極めて性能が劣化しにくい、耐久性の高いグラスウール断熱材です。建築後約18年~22年経った木造住宅の壁の中のグラスウールを調べたところ、寸法、断熱性能とも変化なく、新築時と変わらない性能を保っています。

●グラスウールの断熱性能の経時変化



騒音に強い静かな住まいに

グラスウールは吸音性に優れており、劇場の音響調整や防音対策にも使われています。断熱材として施工することで、室外からの騒音をやわらげます。



もうひとつの快適性能
吸音性

アクリアの健康性能

シックハウスの原因となるホルムアルデヒドを使用していません。

アクリアはノン・ホルムアルデヒド。ご家族の健康と安心に配慮して、ホルムアルデヒドを一切含まない材料を使用して製造しています。ホルムアルデヒドはシックハウス症候群との関連だけでなく、発がん性も指摘されている有害物質のひとつです。



アクリアの安全性能

ガラスが主原料なので、火に強く燃えにくい材料です。

ガラスを原料としたアクリアは、燃えにくく温度に強いので、万一の火災時にも延焼や類焼の被害を最小限に抑えることができます。万一燃えても、煙や有毒ガスはほとんど発生しません。



発がん性に対しても安心です。

アクリアは安全なグラスウールです(アスベストとは全く別の素材)。その安全性は国際的にも高く評価されています。

グループ	ヒトに対して発がん性がある	アスベスト、たばこなど
グループ2A	ヒトに対して発がん性でありうる	とても熱い飲み物、レッドミート(ほ乳類の肉)など
グループ2B	ヒトに対して発がん性の可能性はある	ガソリン、ビクスなど
グループ3	ヒトに対して発がん性に分類されない	グラスウール(短繊維) 、コーヒー、紅茶など
グループ4	たぶんヒトに対して発がん性がない	カプロラクタム1品種のみ

※IARCモノグラフ2016年6月現在

ガラス繊維はアスベストとは異なり、結晶ではないので、体内には残りません。万一、施工中に吸い込んだとしても、肺に入り込みにくく、入り込んでも体液中に溶けて排出されます。

シロアリにも強い

シロアリの食害を受けると断熱性能だけでなく、住宅の耐久性も損なわれてしまいます。アクリアはガラスが原料なのでシロアリの食害に強い断熱材です。

アクリア



蟻道はあるが、食害なし

(財)建築研究協会(京都大学の関連団体)委託実験
(鹿児島屋外試験場での食害試験)

ホームページのスペシャルサイトでもご覧いただけます。

アクリア

検索

<https://www.afgc.co.jp/aclear/>



FIBER + GLASS

吉野石膏グループ
旭ファイバーグラス株式会社